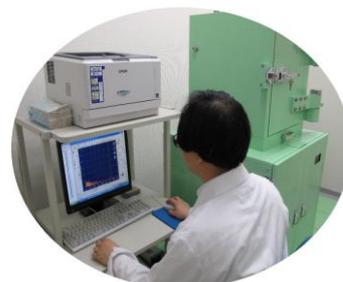


# 食の安全確認のとりくみをすすめています

～放射能検査を6月からスタートしています～

東日本大震災は、福島原発事故による放射能流出も引き起こし、消費者・生産者の食品への不安が増しています。よどがわ生協の共同購入・個人宅配でお届けする商品はおおさかパルコープ商品検査室において『放射能検査機器（ゲルマニウム半導体検出器）』による、モニタリング検査を始めました。（福島県産やその周辺の産地指定農産物を中心に進めてきました）

今後も組合員さんがより安心して消費し、産地生産者が生産継続できるように、生協にできることとして、事前検査を積み重ねていきます。



枚方市にあるおおさかパルコープ商品検査室での検査の様子



## この間、商品検査室で検査を実施した例

測定日	産地・商品名	測定日	産地・商品名
6/17	(福島県)ブロッコリー など	7/26	(岡山県)生協牛乳 など
6/20	(静岡県)COOP深むし茶 など	7/29	(栃木県)国産牛ロースステーキ など
6/21	(静岡県)山中茶 など	8/1	(山形県)尾花沢すいかなど
6/22	(茨城県)有機きゅうり など	8/2	(茨城県)なすびなど
6/23	(千葉県)有機おかひじき など	8/4	(福島県)JA新福島・桃など
6/30	(千葉県)小田さんのチンゲン菜 など	8/5	(長野県)高原野菜ボックス・かぼちゃなど
7/15	(福島県)国産牛肉すき焼肩ロースなど	8/8	(群馬県)カジカくらぶ・キャベツなど
7/22	(兵庫県)コープ牛乳など	8/9	(静岡県)静岡茶など
7/25	(福島県)JA伊達みらい桃 など	8/10	(福島県)手よりきゅうりなど

8月10日現在で

野菜 38品、果物 7品、魚 1品、牛肉 2品、牛乳 13品、茶 11品 合計 72品を検査、いずれも食品衛生法で定められた暫定規制値内でした

<今後の検査の考え方> 優先順位を①今まで通り、福島原発周辺の東北地方の品目、②米・牛乳など日常的に摂取頻度や量が多い食品、として検査数を増やしていきます

<よくあるご質問>—最近のお問い合わせの中で、よくあるご質問にお答えします—

**Q：豚や鶏には、飼料は稲わらを使っていますか？**

A：とうもろこし等の穀物主体の配合飼料を与えています（鶏は大豆かす、米、魚粉なども）。牧草、稲わらなどは与えません。

**Q：乳牛は大丈夫ですか？**

A：パルコープ・よどがわで取り扱っている牛乳は、もともと距離の関係もあり関東・東北の原乳は使用していません。「パルコープ生協牛乳」（岡山県酪農）の乳牛は岡山と北海道生まれ、「パルコープ阿蘇やまなみ牛乳」（熊本県酪農）の乳牛は熊本生まれです。いずれも飼料（牧草）は県内と輸入品（アメリカ・オーストラリア・カナダ・中国）を与えています。他の牛乳についても淡路島や高知県、蒜山（岡山）の原乳を使っており、「コープ牛乳」は主に兵庫県・徳島・九州です。

**Q：牛乳の放射能測定はどうしていますか？**

A：上記のような原乳を使用していますが、念のため、7月22日より牛乳についても検査を始めました。

**Q：商品案内に、産地を1県（農産・畜産）だけで表記したり、検査結果を載せられないの？**

A：商品案内は6週以上前に作成していますが、企画を決める時点で行政の判断に基づいた商品選定をしています。産直及び指定産地以外は、作柄が未定などの理由で複数産地の表示をしています。お届け前に、検査の考え方に沿って可能な限り、モニタリング検査をしています。

**Q：今後、検査品目は増えますか？ 魚など、水産物も心配です。**

A：商品検査室では現在使用している検査機器に加え、簡易検査機（スペクトルサーベイメーター）を新たに購入し、予備検査を行い、検査品目を増やしていきます。現在供給している魚は、震災前に漁獲して冷凍保存しているものを供給しています。尚、9月4日から生サンマの新物が供給開始します。魚などの水産物も順次、優先順位に沿って検査を行っていきます。